

令和 8 年
2026 年

6 月

日	月	火	水	木	金	土
	1 先勝 うま	2 友引 ひつじ	3 先負 さる	4 仏滅 とり	5 大安 いぬ	6 赤口 芒種
7 先勝 ね	8 友引 うし	9 先負 三りんぼう とら	10 仏滅 う	11 大安 入梅 たつ	12 赤口 一粒万倍日 み	13 先勝 一粒万倍日 うま
14 友引 ひつじ	15 大安 さる	16 赤口 とり	17 先勝 伊勢神宮月次祭 いぬ	18 友引 る	19 先負 ね	20 仏滅 うし
21 大安 夏至 三りんぼう とら	22 赤口 う	23 先勝 たつ	24 友引 一粒万倍日 み	25 先負 一粒万倍日 うま	26 仏滅 ひつじ	27 大安 さる
28 赤口 とり	29 先勝 いぬ	30 友引 大祓 る				

水無月

(みなつき) 令和 8 年 6 月

この月に雨量が少ないと、稲が
開花結実しにくいので、豊作
を祈って雨乞いの祭りが盛ん
に行われました。

発行：北海道神社庁一區教化委員会

それ祖を尊び宗を敬ふことは、
礼教の先きとする所なり

古語拾遺

今月のことば

それ祖を尊び宗を敬ふことは、
礼教の先きとする所なり
—古語拾遺—

祖とは祖神（天照大御神）のこと、宗とは御歴代
天皇のこと、その双方を大切にし敬ふことは、あらゆ
る礼儀、教化の先きとするところである。明治天皇の
教育勅語にも「我が皇祖皇宗邦を肇むること宏遠に」
といひ、又「此の道は実に我が皇祖皇宗の遺訓にして」
とある皇祖皇宗がこれに相当する。祖宗を尊敬するこ
とは、肇国の心に帰ることであり、これを敬ふことが、
教育上に於ても大切である所似がここにある。

(神道百言 一般財団法人神道文化会編より抜粋)

季節のまじり

大祓

六月三十日
常に清らかな気持ちで
日々の生活を

私たちは日々の生活を営むうちに
知らず知らずの間に罪けがれを受け
ていきます。それを祓うための儀式が
大祓で、これは記紀神話に見られる
伊弉諾尊の禊祓を起源とし、宮中に
おいてもふるくからおこなわれてき
ました。中世以降、各神社で年中行
事の一つとして普及し、六月三十日
と十二月三十一日に行われます。十
二月の晦日の大祓に対して、六月は
夏越の大祓といわれ、かやでできた
茅輪をくぐり、紙の人
形に息を吹きかけてけ
がれを祓い清めます。

衣替

「裕」から
「単衣」に



四季の移ろいがはっきりしている
日本独自の風習ですが、衣替えは
「更衣」といわれる宮中の行事で、
「綿貫」といい、綿入りの衣服から
綿を抜いたことにより、夏服着
用は六月一日、冬服は十月一日です
が、現在これを守るのは学校や銀行、
企業の制服くらいのもので、時期は
さほど厳密ではなくなっています。
ただ着物では今も衣替えの習慣が守
られており、裏地をつけた「裕」か
ら、裏地のない「単衣」に替えます。

二十四節気

【芒種 ぼつしゆ】…六日

旧暦五月午の月の正節で、雨が間断なく降
り続き、農家はここのほか多忙を極めます。
芒種とは芒のある穀物、すなわち稲を植えつ
ける季節を意味しています。

【夏至 げし】…二十一日

旧暦五月午の月の中気で、この日、北半球
では昼が最も長くなり、反対に夜が最も短く
なります。夏至は夏季のまんなかで、梅雨し
きりといったところです。

六曜・選日

【先勝】…諸事急ぐことによし、午後よりわるし
【友引】…朝夕よし、正午わるし、葬式を忌む
【先負】…諸事静かなることによし、午後大吉
【仏滅】…万事凶、患えは長びくおそれあり
【大安】…何事をするのにも吉日、大吉日
【赤口】…諸事油断すべからず、正午のみ吉
《選日の吉》
【三りんぼう】…三隣亡日、普請始め、棟上大吉日
【一粒万倍日】…出資・投資・購入、新規事業開始
婚姻は吉、借る、離別は凶

七十二候《6月》

夏至 芒種

初候・乃東枯(なつかれくそか) (あまのこ) (あまのこ)
穀草(こむぎ)が枯れていく
次候・高蒲葦(たかあし) (あやめはな) (あやめはな)
アヤメやアザミの花が咲く
末候・半夏至(はんげし) (うすげし) (うすげし)
半夏至のまもなく草の葉が白く染まる
初候・腐草為螢(くされたなきはな) (くされたなきはな)
ホタルが光を放ちながら飛び交う
次候・梅子黄(うめのみきは) (うめのみきは)
梅の実が薄黄色に色づく
末候・梅子黄(うめのみきは) (うめのみきは)
梅の実が薄黄色に色づく

いぬ
安産祈願 6月の戌の日

5日(金)
17日(水)
29日(月)

*戌の日以外でも安産祈願のご奉仕をして
あります。神社にお問い合わせください。

祝祭日には国旗を
掲げましょう

「入梅」は十一日、
「えぞ梅雨」とは？
一般に北海道に梅雨はないといわ
れていますが、これは梅雨前線がお
もに本州上に停滞することや、梅雨
のわりには前線の勢力が衰え、北上
する速度が非常に遅くなっているこ
とから、北海道で梅雨によると思わ
れる降水が長く続かないことが多い
からです。また、年によつては二週
間程度、本州の梅雨と同じ時期に
ずつき肌寒い天気が続くことがあ
り、これを「蝦夷梅雨」(えぞつゆ)
と呼んでいます。おもにオホーツ
ク高気圧の勢力南下にともなう気象
で、冷涼なのが特徴で、俗に「リラ
冷え」とも呼ばれています。尚、気
象庁ではこれを梅雨とは認めていま
せん。

せきざんすんすい
尺山寸水

目線を高くすれば、
人生や世の中の物事は
とても小さい。

ひまわり
向日葵

参考文献
『日本人数のしきたり』飯倉晴武(青春出版社)

「芸事は六歳の六月六日」
に始めるのがよいといわれているのは？
六月六日は「お稽古始めの日」と
されています。これは、昔から「芸
事は六歳の六月六日に始めると上達
が早い」といわれられているからです。
一説によると、指折り数えると五
までは親指から順に指を曲げて数え
ますが、六は小指を立てて数えるこ
とになります。そこから、「子が立つ
のは六」と縁起担ぎをするようにな
り、六歳六月六日を芸事始めの日に
するようになったといわれています。
また、六十千支によるものとする
説もあります。昔は数之年で年齢を
数えていたので六歳は実際には満五
歳になります。五歳は十二ヵ月×
五で六十ヵ月に相当します。六十と
いう数字は六十千支に通じ、千支が
一巡したと考えられ、新しいことを
始めるのにふさわしい時期だとされ
たわけですね。